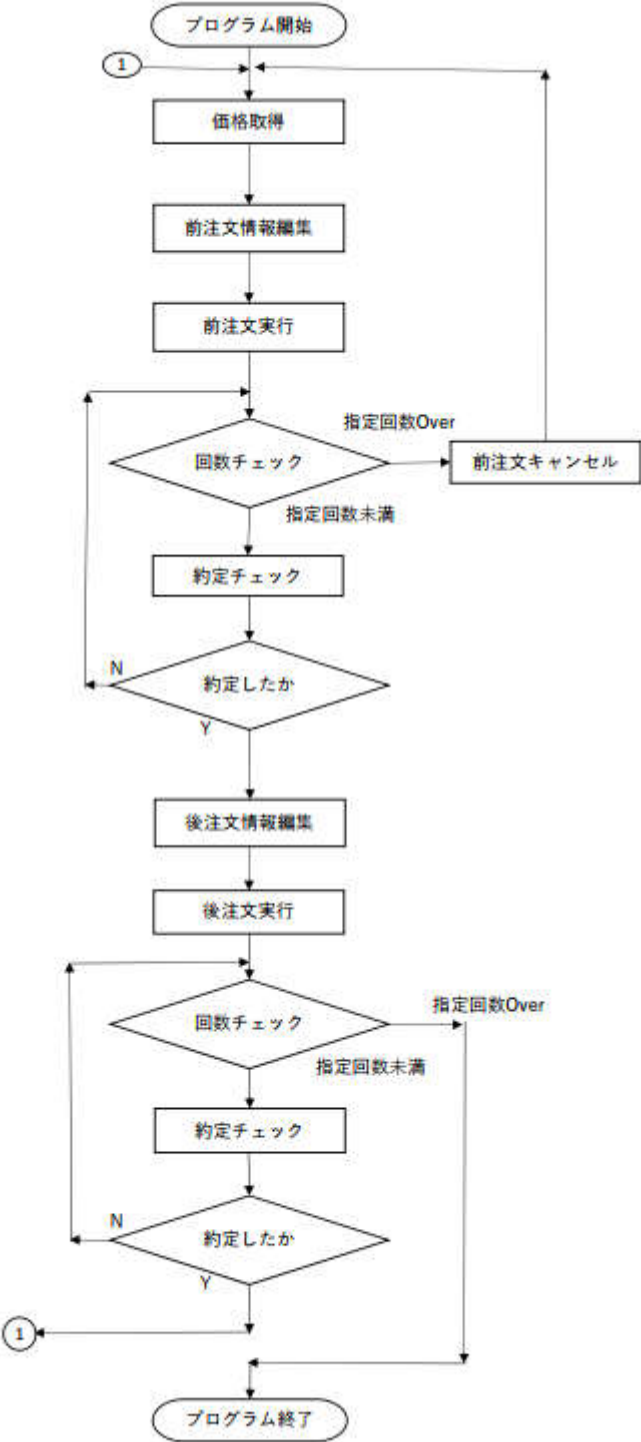


## 使用手順

1. Bitbank.zip を任意の場所に解凍して下さい。
2. ApiKey,ApiSecret を取得し、同梱の ApiEncryptDecrypt.exe を起動し暗号化して下さい。(必要な権限は「参照」「取引」です。「出金」は無効にしておいて下さい)
3. 次ページ以降を参考に InitParam.json を編集してください。
4. ブラウザで BitBank の取引画面を表示させて下さい。(確認用)
5. BotBitBank.exe を起動して、設定した通りに動作しているかブラウザ画面および取引ログで確認して下さい。(タスクスケジューラー登録での使用を想定しているためタスクバーへは表示されません)
6. タスクスケジューラーへ登録してください。(都度手動で起動しても構いません)

※ 損切りは手動になります。ブラウザの取引画面で該当の注文をキャンセルして下さい。  
また、前注文においてチェック回数内に約定しない場合、注文はキャンセルされます。  
部分約定であっても未約定分の注文はキャンセルされます。金額・数量が大きい場合は部分約定が発生しやすいです。前注文の約定チェック回数も大きい値にして下さい。  
(フロー参照)

BotBitbank の処理の流れ



### InitParam.json の各項目について

項目名	説明
initValue	前注文時の基軸通貨の数量もしくは通貨の数量
tradePair	通貨ペア.通貨_(アンダーバー)基軸通貨 形式で設定します.
baseCurrOrAmount	initValue で設定した数量が基軸通貨の数量か通貨の数量か設定します.(“BaseCurr”もしくは”Amount”)
fixBaseCurrOrAmount	後注文でどちらの数量を固定するか設定します.(“BaseCurr”もしくは”Amount”)
maeSabun	前注文の注文価格と取得した価格（売り注文は最低買値、買い注文は最高買値）の差分を設定します.
atoSabun	前注文の注文価格と後注文の注文価格の差分を設定します.
maeOrderType	前注文の注文種別.”BUY”か”SELL”を設定します.
maeOrderCloseChkCnt	前注文に対する約定チェックを行う回数を設定します.
maeOrderCloseChkInt	前注文の約定チェックを行う間隔(秒)を設定します
atoOrderCloseChkCnt	後注文に対する約定チェックを行う回数を設定します.
atoOrderCloseChkInt	後注文の約定チェックを行う間隔(秒)を設定します
runCntMax	PG の実行で(前注文～後注文を)何回繰り返すかを設定します.
orderNoFileName	直近注文の注文番号を記録するファイルをフルパスで設定します.
tradeLogFld	取引履歴を保存するフォルダをフルパスで設定します.
tanizaki	暗号化された API Key を設定します.
goma	暗号化された API Secret を設定します.

## InitParam.json の設定例

(1)

```
"initValue": 100000,  
"tradePair": "btc_jpy",  
"baseCurrOrAmount": "BaseCurr",  
"fixBaseCurrOrAmount": "Amount",  
"maeSabun": 0,  
"atoSabun": 1000,  
"maeOrderType": "buy",  
. . . . .
```

(価格取得=1,000,000 JPY/BTC の場合)

・ 前注文の内容

注文種別:BUY(買い)

注文価格: 1000000

数 量: 0.1(=100000/1000000)

収 益:(1001000\*0.1)-( 1000000\*0.1)=100JPY

0.1-0.1=0BTC

・ 後注文の内容

注文種別:SELL(売り)

注文価格:1001000(=1000000+1000)

数 量:0.1

(2)

```
"initValue": 100000,  
"tradePair": "btc_jpy",  
"baseCurrOrAmount": "BaseCurr",  
"fixBaseCurrOrAmount": " BaseCurr ",  
"maeSabun": -10000,  
"atoSabun": 10000,  
"maeOrderType": "buy",  
. . . . .
```

(価格取得=1,000,000 JPY/BTC の場合)

・ 前注文の内容

注文種別:BUY(買い)

注文価格: 990000(=1000000-10000)

数 量: 0.101(=100000/990000 )

収 益:100000-100000=0JPY

0.101-0.1=0.001BTC

・ 後注文の内容

注文種別:SELL(売り)

注文価格:1000000(=990000+10000)

数 量:0.1(=100000/1000000 )

(3)

```
"initValue": 0.1,  
"tradePair": "btc_jpy",  
"baseCurrOrAmount": " Amount ",  
"fixBaseCurrOrAmount": "Amount",  
"maeSabun": 0,  
"atoSabun": -1000,  
"maeOrderType": "sell",  
. . . . .
```

(価格取得=1,000,000 JPY/BTC の場合)

・ 前注文の内容

注文種別: SELL(売り)

注文価格: 1000000

数 量: 0.1

収 益:  $(1001000 \times 0.1) - (999000 \times 0.1) = 100 \text{JPY}$

$0.1 - 0.1 = 0 \text{BTC}$

・ 後注文の内容

注文種別: BUY(買い)

注文価格:  $999000 (= 1000000 - 1000)$

数 量: 0.1

(4)

```
"initValue": 0.1,  
"tradePair": "btc_jpy",  
"baseCurrOrAmount": " Amount ",  
"fixBaseCurrOrAmount": " BaseCurr ",  
"maeSabun": 10000,  
"atoSabun": -10000,  
"maeOrderType": "sell",  
. . . . .
```

(価格取得=1,000,000 JPY/BTC の場合)

・ 前注文の内容

注文種別: SELL(売り)

注文価格:  $1010000 (= 1000000 + 10000)$

数 量: 0.1

注文金額:  $101000 (= 1010000 \times 0.1)$

収 益:  $1010000 - 1010000 = 0 \text{JPY}$

$0.101 - 0.1 = 0.01 \text{BTC}$

・ 後注文の内容

注文種別: BUY(買い)

注文価格: 1000000

数 量:  $0.101 (= 101000 / 1000000)$

## タスクスケジューラーの設定例

(各自の設定内容に合わせ調整して下さい。)

BitBank BOT のプロパティ (ローカル コンピューター)

全般 トリガー 操作 条件 設定 履歴 (無効)

名前(M): BitBank BOT  
場所: ¥  
作成者: MYCOMPUTER#shiba  
説明(D):

セキュリティ オプション  
タスクの実行時に使うユーザー アカウント:  
shiba ユーザーまたはグループの変更(U)...

☒ ユーザーがログオンしているときのみ実行する(R)  
☐ ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する(W)  
☐ パスワードを保存しない(P) (タスクがアクセスできるのはローカル コンピューター リソースのみ)  
☐ 最上位の特権で実行する(I)

☐ 表示しない(V) 構成(C): Windows Vista™, Windows Server™ 2008

OK キャンセル

トリガーの編集

タスクの開始(G): スケジュールに従う

設定

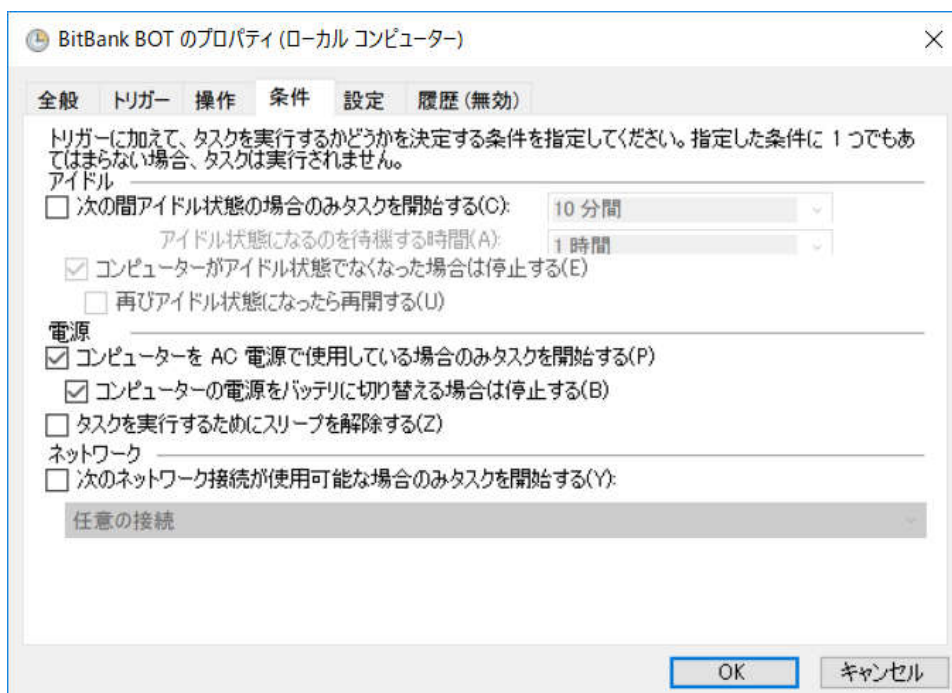
☐ 1 回(N)  
☒ 毎日(D)  
☐ 毎週(W)  
☐ 毎月(M)

開始(S): 2018/04/26 9:20:49 ☐ タイムゾーン間で同期(Z)  
間隔(C): 1 日

詳細設定

☐ 遅延時間を指定する (ランダム)(K): 1 時間  
☒ 繰り返し間隔(P): 10 分間 継続時間(F): 無期限  
☐ 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する(I)  
☐ 停止するまでの時間(L): 3 日間  
☐ 有効期限(X): 2019/06/15 23:11:39 ☐ タイムゾーン間で同期(E)  
☒ 有効(B)

OK キャンセル



BitBank BOT のプロパティ (ローカル コンピューター)

×

全般

トリガー

操作

条件

設定

履歴 (無効)

タスクの動作に影響する追加設定を指定してください。

☒

タスクを要求時に実行する(L)

☒

スケジュールされた時刻にタスクを開始できなかった場合、すぐにタスクを実行する(S)

☐

タスクが失敗した場合の再起動の間隔(T):

1 分間

~

再起動試行の最大数(R):

3

回

☒

タスクを停止するまでの時間(K):

3 日間

▼

☒

要求時に実行中のタスクが終了しない場合、タスクを強制的に停止する(F):

☐

タスクの再実行がスケジュールされていない場合に削除されるまでの時間(D):

30 日間

▼

タスクが既に実行中の場合に適用される規則(N):

新しいインスタンスを開始しない

▼

OK

キャンセル